

高橋葉介原作の怪奇ミステリマンガ

「夢幻紳士」初の実写映画化

福岡インディペンデント映画祭 2020でも優秀作品賞を受賞



「人の心に醜いものを植え付けるのは、僕の美意識に反する」

イントロダクション



1980年代に雑誌「マンガ少年」で連載を開始した「夢幻紳士」は、昭和初期の帝都東京を舞台に探偵・夢幻魔実也が事件を解決する、ハヤカワミステリマガジンで現在も連載中の怪奇ミステリ漫画。作品の魅力に取り憑かれた海上ミサコ監督が、映像化不可能と言われた傑作を、資金の一部をクラウドファンディングで集め、熱い思いで映画化した。

2018年の日本芸術センター第10回映像グランプリの優秀映画賞を皮切りに、2019年に愛媛国際映画祭プレイベントで審査員特別賞受賞の他、ロンドン国際フィルムメーカー・フェスティバルのコンペティション部門など国内外の映画祭に参加し高評価を得ており、昨年の福岡インディペンデント映画祭 2020でも優秀作品賞を受賞している。

ストーリー

昭和初期の日本。探偵・夢幻魔実也(皆木正純)は、他人の心を視たり、他人に自由に夢を見せる事ができる。ある夏の終わり、魔実也は道端で聞いた不思議な声に誘われ、木箱から発見された少女・三島那由子(横尾かな)に会いに行く。山奥の診療所で那由子に会うと、彼女は反応がなく、まるで人形の様だった。那由子の母ミツ(井上貴子)によると、奉公に出たまま数か月間行方不明だったという。魔実也は彼女の心の中を視ると、那由子は、奉公先の女主人・耀子(岡優美子)によって、自らを人形と思い込む暗示をかけられていた…。令和の今、あなたはついに夢幻魔実也に出会う。そして幻想世界の一部になる。

出演:皆木正純、横尾かな、岡優美子、鹿嶋、紀那きりこ、杉山文雄、SARU、井上貴子、美いら、山口美紗、森川陽香、山田夢 原作:高橋葉介「夢幻紳士」 人形地獄より 早川書房刊
 編集:海士ミサコ 脚本:木下下一歩、菅沼陽、佐東幸美、海士ミサコ 監修:スズキケンタロー 撮影:船橋俊輝 録音:MA:田中秀樹 VFX:クレディンク(東海林毅 奥田 都司 栗原 渡部) 立山功
 ヘアメイク:北澤真(CTA)、たなかあきら(CTA) ヘアメイク監修:藤田美子 音楽監修:山田陽香 監製:菅沼陽 制作協力:電気屋博 人形地獄:アートマスターズスクール 他 プロデューサー:UNAPON 監製:佐東幸美
 制作:ビーネウォーカーズコレクション 2018年/日本/90分/Color and B&W/Stereo/16:9 ©高橋葉介・早川書房/ビーネウォーカーズコレクション 総監:ミカド・エンタテインメント 音楽:ムービー・アクト・プロジェクト



2021年5月22日(土)
 K's cinemaほか
 全国順次ロードショー

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿道ドコモショップ左入ル

新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com

各回入替・整理券制

